

- 中心市街地の低未利用地をポケットパークとして整備し、利活用のモデルケースの構築
- 専門家と連携し不動産に関する相談会を開催し、16件の相談対応を実施

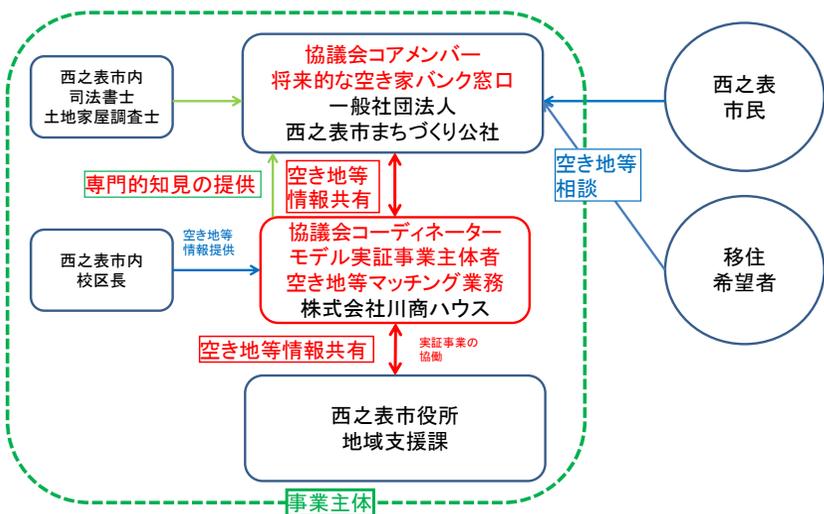
### 背景・課題

取組対象地域はUJターン希望者からの移住・定住に関する問合せは多いが、中心市街地近辺では、既存の賃貸物件が少ないことや、空き家等の賃貸・売買に関して権利関係（相続未登記・所有者不明土地）が不確定なものが多いことから利活用が進んでいない。

### 調査目的

中心市街地の低未利用地において空き地利活用のモデルケースを構築するとともに、土地家屋調査士・司法書士等と連携し、島内外の不動産所有者向けセミナー等、低未利用地の流通促進に関する広報活動を通じて、不動産の情報の整備や流通、利活用を行う体制づくりを行う。

### 事業内容・スキーム



### 【事業内容】

1. 中心市街地の低未利用地をポケットパークとして整備し、イベントを企画する等により利活用のモデルケースを構築する。
2. 専門家と連携し、不動産に関するセミナー及び相談会を開催することで、所有者に対して相続登記等、利活用に向けた意識を高める。

### モデル調査の成果

#### ①不動産の利活用のモデル実施

・中心市街地の低未利用地を、利活用のモデルケース構築を目的に、ポケットパークとして整備した。

＜ポケットパークとして整備された低未利用地＞



商工会が所有する種子島を舞台としたアニメをテーマにしたコンテナを設置し、旅客誘引を図る。

近隣に駐車場が少ないことから、パーク利用者及び商店街利用者が無償で使うことができる仮設駐車場を整備。

- 12月には、商店街振興組合と連携し、イルミネーションを実施した。
- 新型コロナウイルスの影響により、本来予定していたイベントは中止となったことから、駐車場スペースのみが利用されていた。
- 地域の校区長へのヒアリングでは、市や校区が持つ空き地等を用いて、ポケットパークを点在させると良いとの意見が出た。

#### ②セミナーを通じた不動産情報の整理

・弁護士や司法書士、土地家屋調査士が同席し、不動産相談会を開催した。

＜不動産セミナーの様子＞＜相談会のポスター＞



- 当日は相談が16件あり、その内半数以上が相続・登記に関するものであった。
- 弁護士、司法書士、土地家屋調査士が同席したことで来場者からは「非常に参考になった」と好評であった。